



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月24日

上場会社名 バリューコマース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2491 URL http://www.valuecommerce.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高経営責任者 (氏名) 香川 仁  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 遠藤 雅知 TEL 03-4590-3600  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	9,688	9.4	1,140	12.0	1,241	6.9	713	△4.9
25年12月期第3四半期	8,855	29.9	1,018	51.2	1,161	48.0	750	63.2

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 767百万円 (0.5%) 25年12月期第3四半期 763百万円 (66.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	21.49	21.36
25年12月期第3四半期	22.63	22.52

(注) 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	8,862	5,351	60.0	159.97
25年12月期	8,639	4,946	57.0	148.41

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 5,313百万円 25年12月期 4,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	600.00	-	6.50	-
26年12月期	-	5.00	-		
26年12月期（予想）				6.00	11.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成25年12月期第2四半期末配当については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	14.9	1,650	23.1	1,810	18.9	1,160	20.3	34.93

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	34,471,000株	25年12月期	34,471,000株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	1,255,800株	25年12月期	1,277,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	33,210,196株	25年12月期3Q	33,136,799株

（注）当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株、平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、平成26年10月27日（月）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

当日使用する資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要及びその反動減の一時的な影響は徐々に緩和してきているものの、増税による可処分所得の減少や物価の上昇に伴い消費者の景況感は悪化しており、個人消費の抑制は継続していると見られ、景気の先行きは不透明となっております。

こうした状況の下、当第3四半期連結累計期間の売上高は、9,688,183千円（前年同四半期比9.4%増）となり、増収を確保いたしました。営業利益は、販売費及び一般管理費がほぼ前年同四半期並みとなり、1,140,281千円（前年同四半期比12.0%増）となりました。経常利益は、営業外収益に持分法による投資利益を計上したことにより、1,241,439千円（前年同四半期比6.9%増）となりました。四半期純利益は、特別損失に本社移転費用105,732千円を計上したことにより、713,620千円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①アフィリエイトマーケティングサービス事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、主にショッピング及び旅行分野の成果報酬型広告が堅調に推移したため、セグメント売上高は8,804,586千円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント利益は1,407,737千円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

#### ②ストアマッチサービス事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、前連結会計年度から取り組んでいるYahoo!ショッピング向けサービスの拡充により、セグメント売上高は883,597千円（前年同四半期比11.5%増）、セグメント利益は121,927千円（前年同四半期比191.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 1. 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は8,862,868千円となり、前連結会計年度末と比べて223,502千円増加いたしました。

流動資産は7,227,783千円となり、前連結会計年度末と比べて186,055千円減少いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金が279,837千円増加したものの、現金及び預金が182,384千円、未収入金が227,599千円減少したことによるものです。

固定資産は1,635,085千円となり、前連結会計年度末と比べて409,557千円増加いたしました。これは、主に投資有価証券が440,009千円増加したことによるものです。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,511,238千円となり、前連結会計年度末と比べて181,476千円減少いたしました。

流動負債は3,395,743千円となり、前連結会計年度末と比べて160,395千円減少いたしました。これは、主に買掛金が428,392千円、未払費用が65,412千円増加したものの、未払金が403,290千円、未払法人税等が255,500千円減少したことによるものです。

固定負債は115,495千円となり、前連結会計年度末と比べて21,080千円減少いたしました。これは、主に長期預り保証金が19,897千円減少したことによるものです。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は5,351,630千円となり、前連結会計年度末と比べて404,978千円増加いたしました。これは、主に利益剰余金が剰余金の配当により381,831千円減少したものの、四半期純利益の計上により713,620千円増加したことによるものです。

#### 2. キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は4,359,426千円となり、前連結会計年度末と比べて182,384千円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は625,473千円（前年同四半期は675,264千円の獲得）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が1,129,730千円であり、プラス要因として、仕入債務の増加額が428,392千円、未

収入金の減少額が227,599千円であった一方、マイナス要因として、法人税等の支払額が619,528千円、未払金の減少額が414,002千円、売上債権の増加額が280,646千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は429,906千円(前年同四半期は256,467千円の使用)となりました。これは、主に投資有価証券及び無形固定資産の取得による支出がそれぞれ327,414千円、108,493千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は378,425千円(前年同四半期は202,049千円の使用)となりました。これは、主に配当金の支払額が379,292千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年1月29日の「平成25年12月期 決算短信」で公表いたしました平成26年12月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,541,810	4,359,426
受取手形及び売掛金	1,753,918	2,033,755
繰延税金資産	86,886	39,573
未収入金	987,726	760,126
その他	46,159	35,546
貸倒引当金	△2,663	△645
流動資産合計	7,413,838	7,227,783
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	38,810	—
工具、器具及び備品（純額）	36,919	51,438
リース資産（純額）	4,912	3,770
有形固定資産合計	80,642	55,208
無形固定資産		
ソフトウェア	252,842	286,479
ソフトウェア仮勘定	100,462	96,145
その他	6,995	8,837
無形固定資産合計	360,299	391,462
投資その他の資産		
投資有価証券	632,355	1,072,364
繰延税金資産	46,399	17,877
その他	106,657	99,810
貸倒引当金	△827	△1,637
投資その他の資産合計	784,584	1,188,414
固定資産合計	1,225,527	1,635,085
資産合計	8,639,365	8,862,868

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,356,020	1,784,413
未払金	1,647,708	1,244,417
未払法人税等	366,500	111,000
その他	185,909	255,912
流動負債合計	3,556,138	3,395,743
固定負債		
長期預り保証金	131,227	111,329
その他	5,348	4,165
固定負債合計	136,575	115,495
負債合計	3,692,714	3,511,238
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,728,266	1,728,266
資本剰余金	1,083,798	1,083,798
利益剰余金	2,306,455	2,636,758
自己株式	△205,381	△201,845
株主資本合計	4,913,139	5,246,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,943	67,243
為替換算調整勘定	△910	△717
その他の包括利益累計額合計	13,033	66,526
新株予約権	20,478	38,125
純資産合計	4,946,651	5,351,630
負債純資産合計	8,639,365	8,862,868

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,855,861	9,688,183
売上原価	6,008,731	6,713,951
売上総利益	2,847,130	2,974,232
販売費及び一般管理費	1,828,826	1,833,950
営業利益	1,018,303	1,140,281
営業外収益		
持分法による投資利益	155,440	101,802
その他	6,504	4,698
営業外収益合計	161,944	106,500
営業外費用		
投資事業組合運用損	17,014	4,689
その他	1,859	653
営業外費用合計	18,874	5,343
経常利益	1,161,373	1,241,439
特別損失		
本社移転費用	—	105,732
その他	—	5,976
特別損失合計	—	111,709
税金等調整前四半期純利益	1,161,373	1,129,730
法人税、住民税及び事業税	364,449	369,788
法人税等調整額	46,922	46,320
法人税等合計	411,371	416,109
少数株主損益調整前四半期純利益	750,002	713,620
四半期純利益	750,002	713,620
少数株主損益調整前四半期純利益	750,002	713,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,513	53,299
為替換算調整勘定	△218	193
その他の包括利益合計	13,294	53,492
四半期包括利益	763,296	767,113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	763,296	767,113
少数株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,161,373	1,129,730
減価償却費	77,687	91,947
株式報酬費用	13,656	17,179
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△154	△1,208
受取利息	△716	△794
支払利息	196	148
為替差損益(△は益)	△185	△281
持分法による投資損益(△は益)	△155,440	△101,802
投資事業組合運用損益(△は益)	17,014	4,689
本社移転費用	—	105,732
売上債権の増減額(△は増加)	△404,746	△280,646
仕入債務の増減額(△は減少)	474,225	428,392
未収入金の増減額(△は増加)	△117,940	227,599
未払金の増減額(△は減少)	8,593	△414,002
預り金の増減額(△は減少)	△31,599	△2,527
預り保証金の増減額(△は減少)	△12,311	△19,897
その他	42,684	37,238
小計	1,072,336	1,221,497
利息及び配当金の受取額	33,216	34,444
利息の支払額	△196	△148
本社移転費用の支払額	—	△10,791
法人税等の支払額	△430,092	△619,528
営業活動によるキャッシュ・フロー	675,264	625,473
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△18,382	△27,680
無形固定資産の取得による支出	△124,534	△108,493
投資有価証券の取得による支出	△113,550	△327,414
投資事業組合からの分配による収入	—	33,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△256,467	△429,906
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	300	—
自己株式の処分による収入	700	2,050
配当金の支払額	△204,746	△379,292
その他	1,697	△1,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△202,049	△378,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	185	474
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	216,932	△182,384
現金及び現金同等物の期首残高	4,126,485	4,541,810
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,343,418	4,359,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	アフィリエイト マーケティング サービス事業	ストアマッチサ ービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,063,449	792,412	8,855,861	—	8,855,861
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,063,449	792,412	8,855,861	—	8,855,861
セグメント利益	1,245,616	41,764	1,287,380	△269,077	1,018,303

(注) 1. セグメント利益の調整額△269,077千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注) 2
	アフィリエイト マーケティング サービス事業	ストアマッチサ ービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,804,586	883,597	9,688,183	—	9,688,183
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,804,586	883,597	9,688,183	—	9,688,183
セグメント利益	1,407,737	121,927	1,529,665	△389,383	1,140,281

(注) 1. セグメント利益の調整額△389,383千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社は、平成26年6月26日開催の取締役会において本社移転を決議したことに伴い、建物附属設備に係る減損損失を34,232千円計上しております。なお、当該減損損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書において、特別損失の本社移転費用に含めて表示しております。

また、当該減損損失は、各報告セグメントに配分されておられません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。